

「個別の教育支援計画」の取組みについて

教育委員会

1 千葉市特別支援連携会議

(1) 設置の目的

本市における特別な支援を要する子どもに関わる関係機関等のネットワーク構築等に向けた定期的な協議の場（平成 27 年度）

(2) 協議内容

- ①教育段階を中心とした各ライフステージにおける相談支援体制の構築に関すること
- ②各関係機関と幼保から小学校、小学校から中学校、中学校から高等学校、また就労での連携における課題への対応、改善に関すること
- ③困難事例への対応の在り方に関する協議、調整に関すること
- ④その他特別支援の連携推進に関し必要な事項

(3) 連携会議委員所属

保健福祉局健康部	健康支援課
保健福祉局高齢障害部	障害福祉サービス課、障害者自立支援課
こども未来局こども未来部	こども企画課、健全育成課、子ども家庭支援課、 幼保支援課、幼保運営課、児童相談所
特別支援学校	第二養護学校、養護学校、高等特別支援学校 県立千葉特別支援学校
社会福祉事業団	療育センター療育相談所、発達障害者支援センター 大宮学園
教育委員会学校教育部	学事課、教育指導課、教育支援課、保健体育課、 教育センター、養護教育センター
教育総務部	教育職員課

(4) 具体的な取組

- ①総合案内パンフレットの作成・・・資料 1
- ②教育・保育施設版「個別の教育支援計画」・・・資料 2
 - ・市内共通のアセスメントシートは作れないかという議論
 - ・引き継ぎのシート 小 1 プロブレムへの対応
 - ・幼保小の連携から接続へ（総合教育会議・・・市長と教育委員）
 - ・ライフサポートファイル
- ③「連携サポートリスト」・・・年少段階からの情報「施設改修」「医療的ケア」
- ④特別支援連携協議会への移行（平成 31 年度） 医療、労働等の関係機関

2 教育・保育施設版「個別の教育支援計画」について

(1) 作成に携わった機関

- ・幼稚園協会、民間保育園協議会、幼保支援課、幼保運営課、養護教育センター

(2) 養護教育センター作成「個別の教育支援計画」・・・資料3

- ・このままでは保護者に示せない
- ・障害認知をしていない保護者への対応
- ・幼保教職員の負担
- ・真の連携を図るために 様式の枠

(3) 教育・保育施設版「個別の教育支援計画」の策定と実施

- ・養護教育センターにおける就学相談から
- ・平成 29 年度トライアル期間として幼保で作成（作成した幼保への調査）
- ・平成 30 年度 5 月 2 回の「個別の教育支援計画」説明会の開催
小中高等学校の特別支援教育コーディネーター向けの研修会に幼保の先生方にも案内を出し実施。（2 日間で小88人、中36人、高校1人、幼保42人参加。）
- ・平成 30 年度入学児童について学校への調査
43 ケース引き継がれた。
33 ケース作成した。
他10 ケースについても作成予定、「個別の指導計画」代用等あり。
- ・完成版の策定及び「Q & A」の作成・・・資料4

・受け取った小学校の感想等

- 幼稚園との引継ぎで「個別の教育支援計画」があると便利
- 今年度よりスタートしたので戸惑ったが、来年度は活かしていきたい
- 入学するのにあたり、特別に支援が必要だったり、外部機関と連携していたりする場合は、情報があるとありがたい。「個別の教育支援計画」で引き継げるとありがたい。
- 一貫した支援をするには必要だと思う。
- 「個別の教育支援計画」を受け取れたことで入学後の指導に関してとても参考になった。大いに役立った。また、通常の学級で去年は作成していなかったが、今年度は7名作成している。
- 入学前の支援計画を参考にして小学校での様子を把握したうえで新たに支援の方向性を決めている。
- 配慮事項を参考に指導している。

特別な支援が必要な方への 総合案内パンフレット

資料 1

うちの子、
・ことばが遅れている・友達とうまく遊べない。
・発達障害かも？
気になることがあれば早めにご相談ください。

発達や学習に関して

ことばが遅い コミュニケーションが取りづらい 集団行動ができない
こだわりが強い 聴力が心配 重篤なアレルギー疾患がある
障害かどうか心配

- | | | |
|---------|---|--|
| 乳 幼 児 期 | — | ・各区保健福祉センター健康課⑨ |
| 年長・小中学校 | — | ・養護教育センター①（相談全般について）
・教育委員会教育支援課②（就学手続について）
・教育委員会保健体育課③
（健康面や食物アレルギーのこと）
・各特別支援学校 |
| 0～18歳未満 | — | ・児童相談所⑧
・療育センター療育相談所⑥（診断に関すること）
・発達障害者支援センター⑦ |
- 発達障害全般について

療育先を探したい

児童発達支援や放課後等デイサービスを利用したい
・各区保健福祉センター高齢障害支援課⑫



各機関名の詳細を見るには、連絡先一覧の番号のところをご覧ください。

福祉について

障害のある子どもを預けるときは届出はどこにするの？

- ・各区保健福祉センターこども家庭課⑩
（保育所（園）、認定こども園、子どもルームのこと）
- ・児童相談所⑧
（18歳未満の児童の入所施設について）

就学・進路について

特別支援学校はどこにあるの？特別支援学級・特別支援学校ってどんなところ？

- | | | |
|---------|---|---|
| 乳 幼 児 期 | — | ・幼保支援課④（幼稚園のこと）
・幼保運営課⑤（保育所、認定こども園のこと） |
| 就 学 前 | — | ・療育センター療育相談所⑥ |
| 就学前（年長） | — | ・養護教育センター①
・教育委員会教育支援課②
・各特別支援学校 |
| 小中学校 | — | ・養護教育センター①
・教育委員会教育支援課②
・各特別支援学校 |

非行について

子供の養育 学校生活 性格・習慣 家族関係 家出や夜遊びなどで困っている

- | | | |
|---------|---|--------------------------------|
| 0～18歳未満 | — | ・児童相談所⑧
・各区保健福祉センター家庭児童相談室⑪ |
| 20歳未満 | — | ・青少年サポートセンター⑬ |

不登校・ひきこもりについて

学校にいけない 外に出られずひきこもっている

- | | | |
|----------------|---|----------|
| 小・中・高等学校 | — | ・教育センター⑪ |
| ひきこもり地域支援センター⑫ | | |

就労について

就労について相談したい

- ・発達障害者支援センター⑦（就労準備、就労後の定着など総合的な支援）
- ・千葉障害者職業センター⑬（職業評価、職業準備支援、ジョブコーチ支援）
- ・各区保健福祉センター高齢障害支援課⑫（就労移行支援事業所等の利用）
- ・千葉障害者就業支援キャリアセンター⑭（就労準備訓練、ジョブコーチ支援）



家庭支援について

子どものこと、家庭のことについて相談したい

- ・児童相談所⑧
- ・各区保健福祉センター家庭児童相談室⑪

連絡先一覧は次のページからです。

①	機関名	千葉市養護教育センター
	住所	千葉市美浜区高浜3-2-3
	TEL	043-277-1199(9時～17時)
	HP	http://www.cabinet-cbc.ed.jp/youse/index.html
市内在住又は市内転居予定の6～15歳(学齢)児童生徒及びその保護者等を対象に、障害等による学習や友達関係の悩みの相談を受け付けます。来所相談等については、事前に申込が必要です。		

②	機関名	千葉市教育委員会学校教育部教育支援課特別支援班
	住所	千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー11階
	TEL/FAX	043-245-5938(9時～17時)/043-246-6148
	HP	https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushien/index.html
視覚、聴覚、肢体、病虚弱等に関する相談を県立特別支援学校の地域支援サービスに紹介します。また、特別支援学級・特別支援学校の転出入に関する相談を行っています。(特別支援学級や特別支援学校への指導助言も行います。)		

③	機関名	千葉市教育委員会学校教育部保健体育課
	住所	千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー11階
	TEL/FAX	043-245-5943(9時～17時)/043-245-5982
	HP	https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/hokentaiiku/index.html
市内在住又は市内転居予定の就学予定者(保護者)を対象に、就学時健康診断受診に関する相談を受け付けます。また、市内小中特別支援学校に在籍する児童生徒の健康面や学校給食(食物アレルギー対応等)に関する相談を受け付けます。		

④	機関名	幼保支援課
	住所	千葉市中央区千葉港2-1千葉中央コミュニティーセンター9階
	TEL/FAX	043-245-5100(8時30分～17時30分)/043-245-5629
	HP	http://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/shien/yotien.html
私立幼稚園についての相談や、補助金(私立幼稚園就園奨励費補助制度)を担当しております。私立幼稚園の空き状況や特別な支援を必要とするお子さんの入園については、各園にお問い合わせください。		

⑤	機関名	幼保運営課
	住所	千葉市中央区千葉港2-1千葉中央コミュニティーセンター9階
	TEL/FAX	043-245-5727(8時30分～17時30分)/043-245-5894
	HP	https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/unei/
入所(園)前に、発達が気になるお子さんの面接を各区のこども家庭課と連携し行っています。また、保育所・認定こども園等に在籍しているお子さんの障害児保育への移行の相談や専門機関の紹介を行っています。		

⑥	機関名	千葉市療育センター 療育相談所
	住所	千葉市美浜区高浜4-8-3
	TEL	043-279-1141(代表)・043-216-2401(直通)(9時～17時15分)
	HP	http://www.shafuku-chiba.jp/ryoiku
心身の発達についての相談を受け、診察に基づき必要な支援を行う医療機関です。対象は18歳未満の児童です。相談には電話による予約が必要です。利用料は保険診療の自己負担額を頂きます。		

⑦	機関名	千葉市発達障害者支援センター
	住所	千葉市美浜区高浜4-8-3
	TEL/FAX	043-303-6088(9時～17時)/043-279-1353
	HP	http://www.shafuku-chiba.jp/hattatu/
市内在住の自閉症・アスペルガー症候群やその他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などの発達障害がある本人・家族・支援する方々及び関係機関を対象に、相談支援・発達支援・就労支援を行います。相談は予約制です。(検査・診断や療育訓練、職業紹介は行っておりません。)		

⑧	機関名	千葉市児童相談所
	住所	千葉市美浜区高浜3-2-3
	TEL/FAX	043-277-8880/043-278-4371
	HP	http://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/jidosodan/index.html
児童相談所は、子どもの健やかな成長を願い、相談される方や子どもとともに考え、解決を図るための専門機関です。18歳未満の子どもに関するさまざまな問題について、家庭その他からの相談に応じています。		

⑨	機関名	各区保健福祉センター健康課
	中央区	住所:千葉市中央区中央4-5-1(きぼーる) TEL:043-221-2581(8時30分～17時30分) FAX:043-221-2590 https://www.city.chiba.jp/chuo/hokenfukushi/kenko/index.html
	花見川区	住所:千葉市花見川区瑞穂1-1 TEL:043-275-6295(8時30分～17時30分) FAX:043-275-6298 https://www.city.chiba.jp/hanamigawa/hokenfukushi/kenko/index.html
	稲毛区	住所:千葉市稲毛区穴川4-12-4 TEL:043-284-6493(8時30分～17時30分) FAX:043-284-6496 https://www.city.chiba.jp/inage/hokenfukushi/kenko/index.html
	若葉区	住所:千葉市若葉区貝塚2-19-1 TEL:043-233-8191(8時30分～17時30分) FAX:043-233-8198 https://www.city.chiba.jp/wakaba/hokenfukushi/kenko/index.html
	緑区	住所:千葉市緑区鎌取町226-1 TEL:043-292-2620(8時30分～17時30分) FAX:043-292-1804 https://www.city.chiba.jp/midori/hokenfukushi/kenko/index.html
	美浜区	住所:千葉市美浜区真砂5-15-2 TEL:043-270-2213(8時30分～17時30分) FAX:043-270-2065 https://www.city.chiba.jp/mihama/hokenfukushi/kenko/index.html
発達の気になるお子さんに関する相談を受け、必要に応じて専門機関をご紹介します。また、育児についての不安や困ったことなどについて、相談に応じます。		

⑩	機関名	各区保健福祉センターこども家庭課
	中央区	住所:千葉市中央区中央4-5-1(きぼーる) TEL:043-221-2172(8時30分～17時30分) FAX:043-221-2606 https://www.city.chiba.jp/inage/hokenfukushi/kodomokatei/index.html
	花見川区	住所:千葉市花見川区瑞穂1-1 TEL:043-275-6421(8時30分～17時30分) FAX:043-275-6318 https://www.city.chiba.jp/hanamigawa/hokenfukushi/kodomokatei/index.html
	稲毛区	住所:千葉市稲毛区穴川4-12-4 TEL:043-284-6137(8時30分～17時30分) FAX:043-284-6182 https://www.city.chiba.jp/inage/hokenfukushi/kodomokatei/index.html
⑩	若葉区	住所:千葉市若葉区貝塚2-19-1 TEL:043-233-8150(8時30分～17時30分) FAX:043-233-8178

	https://www.city.chiba.jp/wakaba/hokenfukushi/kodomokatei/index.html
緑区	住所:千葉市緑区鎌取町226-1 TEL:043-292-8137(8時30分～17時30分) FAX:043-292-8284 https://www.city.chiba.jp/midori/hokenfukushi/kodomokatei/index.html
美浜区	住所:千葉市美浜区真砂5-15-2 TEL:043-270-3150(8時30分～17時30分) FAX:043-270-3291 https://www.city.chiba.jp/mihama/hokenfukushi/kodomokatei/index.html
障害を持つお子さんの保育所(園)、認定こども園、子どもルームの入所の相談や申請に関する事、その他、お子さんの預け先に関する相談に応じています。	

⑪	機関名	各区保健福祉センター家庭児童相談室
	中央区	住所:千葉市中央区中央4-5-1(きぼーる・こども家庭課内) TEL:043-221-2151(月・火・木・金の9時～16時) FAX:043-221-2606
	花見川区	住所:千葉市花見川区瑞穂1-1(こども家庭課内) TEL:043-275-6445(月・水・木・金の9時～16時) FAX:043-275-6318
	稲毛区	住所:千葉市稲毛区穴川4-12-4(こども家庭課内) TEL:043-284-6139(月・火・木・金の9時～16時) FAX:043-284-6182
	若葉区	住所:千葉市若葉区貝塚2-19-1(こども家庭課内) TEL:043-233-8152(月・火・水・金の9時～16時) FAX:043-233-8178
	緑区	住所:千葉市緑区鎌取町226-1(こども家庭課内) TEL:043-292-8139(月・水・木・金の9時～16時) FAX:043-292-8284
	美浜区	住所:千葉市美浜区真砂5-15-2(こども家庭課内) TEL:043-270-3153(月・火・水・金の9時～16時) FAX:043-270-3291
家庭児童相談員が、0～18歳までの子どもと家庭のことについて、問題解決のお手伝いをしています。例えば、子どもの発達のこと、養育のこと、学校生活のこと、性格・習慣のこと、家族関係のこと、家出や夜遊びで困っていることなど。必要に応じて学校への連絡や専門機関の紹介などを行っています。		

⑫	機関名	各区保健福祉センター高齢障害支援課
	中央区	住所:千葉市中央区中央4-5-1(きぼーる) TEL:043-221-2152(8時30分～17時30分) FAX:043-221-2602 https://www.city.chiba.jp/chuo/hokenfukushi/koreishogai/index.html
	花見川区	住所:千葉市花見川区瑞穂1-1 花見川保健福祉センター1階 TEL:043-275-6462(8時30分～17時30分) FAX:043-275-6317 https://www.city.chiba.jp/hanamigawa/hokenfukushi/koreishogai/index.html
	稲毛区	住所:千葉市稲毛区穴川4-12-4 稲毛保健福祉センター1階 TEL:043-284-6140(8時30分～17時30分) FAX:043-284-6193 https://www.city.chiba.jp/inage/hokenfukushi/koreishogai/index.html
	若葉区	住所:千葉市若葉区貝塚2-19-1 若葉保健福祉センター1階 TEL:043-233-8154(8時30分～17時30分) FAX:043-233-8251 https://www.city.chiba.jp/wakaba/hokenfukushi/koreishogai/index.html
	緑区	住所:千葉市緑区鎌取町226-1 緑保健福祉センター1階 TEL:043-292-8150(8時30分～17時30分) FAX:043-292-8276 https://www.city.chiba.jp/midori/hokenfukushi/koreishogai/index.html
	美浜区	住所:千葉市美浜区真砂5-15-2 美浜保健福祉センター1階 TEL:043-270-3154(8時30分～17時30分) FAX:043-270-3281 https://www.city.chiba.jp/mihama/hokenfukushi/koreishogai/index.html
身体障害者(児)・知的障害者(児)の各福祉法の援助、身体障害者手帳・療育手帳の受付、障害者総合支援法の支給決定、各種給付(手当・医療費助成)等に関する相談等を行っています。		

⑬	機関名	千葉障害者職業センター
	住所	千葉市美浜区幸町1-1-3 ハローワーク千葉4階
	TEL/FAX	043-204-2080(8時45分～17時)/043-204-2083

⑭	機関名	千葉障害者就業支援キャリアセンター
	住所	千葉市美浜区新港43
	TEL/FAX	043-204-2385(9時～17時)/043-246-7911

⑮	機関名	青少年サポートセンター
	全区 中央区	青少年サポートセンター中央 住所:千葉市中央区中央3-10-8 中央区役所3階 TEL:043-227-7830(9時～17時)FAX:043-227-2892
	若葉区	東分室 住所:千葉市若葉区千城台西2-1-1 千城台市民センター2階 TEL:043-237-5411(9時～17時)FAX:043-237-0316
	美浜区・稲毛区 花見川区の一部	西分室 住所:千葉市美浜区高浜3-1-3 千葉市教育会館2階 TEL:043-277-0007(9時～17時)FAX:043-277-9651
	緑区	南分室 住所:千葉市緑区おゆみ野3-15-2 鎌取コミュニティセンター等複合施設1階 TEL:043-293-5811(9時～17時) FAX:043-293-5813
	花見川区 稲毛区の一部	北分室 住所:千葉市花見川区花見川3-31-103 花見川市民センター等複合施設1階 TEL:043-259-1110(9時～17時)FAX:043-259-5519
不登校・いじめ・態度や行動の急変・深夜徘徊・交友関係の悩み・金品のらん費・無断外泊・怠学・飲酒・喫煙・乱暴・薬物など、青少年の問題にお困り・お悩みの方の相談に応じています。		

⑯	機関名	千葉市教育センター
	住所	千葉市稲毛区轟町3-7-9
	TEL	043-255-3702(9時～17時)
	HP	http://www.cabinet-cbc.ed.jp
教育上の悩みをもつ幼児・小学生・中学生・高校生・高校生対象年齢の青少年及びその保護者を対象に相談を受け付けます。来所相談・電話相談・医療相談などがあります。来所相談・医療相談は事前に電話で申し込みが必要になります。		

⑰	機関名	千葉市ひきこもり地域支援センター
	住所	千葉市美浜区高浜2-1-16(こころの健康センター内)
	TEL	043-204-1606(9時～17時)
	HP	http://uwnchiba.net/other/hikikomori/
千葉市在住のひきこもり状態の方、そのご家族の方を対象に相談を受け付けます。センターでの相談以外にも、お近くの保健福祉センターやご自宅に伺いご相談をお受けします。原則事前予約制になっていますので、まずはお電話でご連絡ください。本人、家族いずれも結構です。		

【記入例】

個別の教育支援計画（3，4，5 歳児用）

*****一部省略の意味

平成 27 年 5 月 1 日策定 教育・保育施設（園）名 ○○○園 連絡先 043-123-4567

平成 27 年度：3 歳児		平成 28 年度：4 歳児		平成 29 年度：5 歳児	
施設（園）長名：佐藤 一郎		施設（園）長名：佐藤 一郎		施設（園）長名：佐藤 一郎	
担当者名：加藤 幸子		担当者名：加藤 幸子		担当者名：中村 由美	
ふりがな 氏名	ようご せんだ	男	生年月日	平成 23 年 5 月 1 日	
	養護 船太	女	入園（所）年	平成 27 年 4 月	
ふりがな 保護者氏名	ようご きょうこ	続柄	住所	千葉県中央区○○1-2-3	
	養護 教子	(父)	連絡先	Tel 043-456-7890	
集団での子どもの姿					
	本人が困っていること	興味・関心のあること	身体 の 状況	手帳・検査	
3 歳児	・自分の気持ちを相手に伝えられない ・困ると泣いてしまう	・気の合う子（1 人）と一緒にいること ・虫・小動物・電車	・欠席も少なく健康である		
4 歳児	・友達に自分の思いを伝えられない	・フラフープ・ビー玉			
5 歳児	・思いどおりにいかないことに執着し、切り替えが難しい	・あやとり・折り紙（手先がとても器用）・電車がすき	・健康	ボーダー域精神発達遅滞・自閉スペクトラム症	
今後（就学まで）の希望					
本人	・泣かないで気持ちを伝えられるようになりたい（27 年度） ・お友達と電車ごっこがしたい。いろいろなものを作ってみたい。（29 年度）				
保護者	・友達と一緒に楽しく過ごしてほしい。自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってほしい（27 年度） ・気分がむらがあるので、集団生活での過ごし方やお友達とのかわり方などを身に付けてほしい（29 年度）				
		具体的な目標		必要と思われる内容	
具体的な支援	教育・保育施設（園）	27 年度	・自分の気持ちや思いを言葉で伝えられるようになる	・保育者が本児の気持ちを汲み取り言葉として本児にも相手にも伝えていく。	
		28 年度	・安心できる友達との遊びを楽しむ。	・本児の考えを保育者が代弁し伝える。それを見て、自ら気持ちや考えを整理し、仲間に伝える方法を知る。	
		29 年度	・「自分でできた！」という経験を増やす。 ・見通しをもち、わかって行動できるようになる。	・本児が自ら気づき取り組みやすい環境を整える。 ・絵（文字も合わせて）を提示し、視覚的に情報を伝えた上で、言葉での説明も加えていく。 ・自分の言葉で伝える機会をつくる。	
	保護者	27 年度	・泣かないで登園する。	・時間に余裕をもって登園する。切替えが出来るよう声かけをする。	
		28 年度	・自分で出来ることは自分でする。	・出来ていることを伝え、自信をもてるようにする。 ・自分で出来ることは楽しいと思えるようにする。	
		29 年度	・やりたいことはいつも出来ることではない、ということがわかる。 ・先生に挨拶ができる。	・事前にこれからの予定や、予想される事を伝える。 ・自分で目標を決めて挑戦する。	

和暦で記載

本人の気持ちを、保育者が代弁しても可
気持ちの変化があれば追記する

【記入例】

具体的な支援	医療機関	年月日	支援内容
	相談・療育機関		各機関との連携の中で共有した内容や保護者から聞いた内容を記録
		28年	・千葉市療育センターに行き始める。
		29年	・ブリングアップに療育を移す。 ・養護教育センターで就学相談を始める。
年度末の子どもの姿と願い	27年度	・一緒にいたいと思う友達はあるが、遊びは並行遊びが続いている。少しずつ気持ちを言葉でも伝える姿が増え、泣き叫ぶことが減ってきている。 ・大きな集団は苦手と離れて見ていることも多いが、まず、好きな友達とやり取りをしながら遊べるようになってほしい。その関係を足がかりに、本児が安心して過ごす仲間を増やしてほしい。	
	28年度	・安心できる友達と ・仲間の中での安心 願いは次年度への課題を具体的に記入する 記入時期は1月頃 ただし、転園等の際はその時点での姿を記入する	
	29年度	・友達との関係で思いが通じない場面に出会うと、保育者にどのように自分の気持ちを整理したらよいのか、さらにどう対応したらよいのか助けを求めてくるようになった。相手や状況に合わせるのは難しそうであったが、自分で対応していきたいという意欲が伝わってくるようになった。 ・相手の気持ちや考えを聞き、受入れながら、自分の気持ちも伝えられたという経験を増やし、自信をもてるようになってほしい。	
新しいステージ（就学・転園等）でのより良い連携のために伝えたいこと			
本人	小学校で勉強することをとても楽しみにしています。		
保護者	戸惑っていると感じたときには、行動のヒントになることを伝えてほしいです。気持ちの切替に時間がかかるので、次の予定を事前に伝えておくことで比較的スムーズに物事に取り組むことができます。		
保育者	本児にわかりやすく、今やるべき事を示したり、気がつけるように言葉かけをしたりすることで行動がスムーズになります。手本があると行動しやすいようです。		

【個人情報の取り扱いについて】

- 1 関係者以外が閲覧できないようファイル管理を厳正に行う。
- 2 本計画を策定した機関が、別の機関に本計画を提示する場合は、事前に必ず保護者の了解を得る。
- 3 2において本計画の提示を受けた機関は、その情報を提示目的以外に使用してはならない。

※ 本計画の内容に同意し、就学や転園先等に情報共有することを承諾します。

年度	年度	年度	年度
保護者署名			

【記入例】

具体的な支援に関する特記事項	
年月日	内容
27.5.10	<ul style="list-style-type: none"> ・使っていたおもちゃを友達に「貸して」と言われ、困って号泣していた。保育者が本児の気持ちを汲み取り「まだ使いたいんだよね。」「お友達に『もう少し待って』って言うてみようか。」と話しかけていくうちに落ち着いてきた。 ・言葉で伝えることはできない。
27.5.19	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達Aとブランコに乗っているとき、他の友達から「ブランコ貸して」と言われ、Aが「だめよ」と言っているのを聞いて一緒に「だめよ」と言っていた。友達を介して“貸したくない”という気持ちを「だめよ」という言葉で伝えることができた。（保育者は10数えたら代わるということを知らせていった）
27.12	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談のなかで「うちの子はいつも一人で遊んでいる様子が見られる」「A君とは一緒にいることが多いが、他の友達とかかわっている姿が見られない」「集団のなかで過ごすことが苦手なのか気になる」と言う話があった。 ・実際にクラスを離れ二人だけで遊んでいることが多いが、まだ並行遊び的な姿が多い。自分の意が通らないとき奇声をあげること、A君との間では言葉でのやり取りが少しずつ出てきていることを伝えた。家庭で奇声をあげることはないとのこと。
*****	*****
29.2	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも会話は増えてきているが、自分の思いが通じないとイライラしたり奇声を上げたりする姿が見られるようになったとのこと。 ・家庭でも園でも本児の思いを汲み取り、言葉にして伝え合うようにしていくことを共有した。また、本児の困り感を少なくするために専門機関との連携をすすめた。
29.6	<p>千葉県療育センターでの検査</p> <p>全検査 IQ 83 言語理解 82 知覚推理 104</p> <p>ワーキングメモリー 68 処理速度 88</p> <p><所見>全体的な知的発達「低い（境界域）」から「平均の下」の水準と考えられる。ただし本児の個性がみられる。</p>

ケース会議、心理検査結果、教育・保育施設が行った好事例や支援・配慮内容等を記入

卒園や退園等で保護者に渡す際は、写しに原本証明をし、原本を教育・保育施設で保管する。

【例】

この写しは、原本と相違ないことを証明します。

平成〇〇年〇月〇日

教育・保育施設（園）名 〇〇園

園長・施設長名 〇〇 〇〇

秘 個別的教育支援計画

幼稚園・保育所名 ()

学校名 (千葉市立*****小学校)

ふりがな 氏 名		* * * * *		生年月日 H* * 年 * 月 * * 日	
保 護 者	ふりがな 氏 名	* * * * *		(続柄 父) 家族状況 (ペット含)	
	住所	〒 TEL		* * * (父*歳) * * * (母*歳) * * * (姉*歳)	
	緊急 連絡先	①名前 (続柄) Tel ②名前 (続柄) Tel		本人 (*歳) 犬2匹	
診断名 (複数可)		自閉症スペクトラム障害		医療機関名 (左に対応)	〇〇病院
診断に至るまでの経過				現在までの治療・相談歴	
年長の頃から、不器用な様子があった。小学校に入ってから家でパニックを起こすことが多く、病院に受診した。				H23.5 保健師に運動のことを相談 (担当* * *) H27.4 〇〇病院に受診 服薬 (担当* * * * *) H27.5 千葉市養護教育センターに相談 (担当* * * * *)	
特に本人が困っていること					
書くのが苦手。繰り返し同じことをするのが苦手。家で、パニックを起こす。					
療育手帳	有・ <input type="checkbox"/> 等級	手帳番号		年 月 日交付	
身体障害者 手帳	有・ <input type="checkbox"/> 等級	手帳番号		年 月 日交付	
精神障害者 保健福祉手帳	有・ <input type="checkbox"/> 等級	手帳番号		年 月 日交付	
受給者証 有・ <input type="checkbox"/>	.		番号 番号		
諸検査 服薬 アレルギー など	・WISC-IV (FSIQ** VCI** PRI** WMI** PSI**) H27.6 養護教育センターにて ・頓服薬〇〇 .				
生 育 歴				療育・保育・教育歴	
・出下時体重 (g) ・首のすわり (歳 ヶ月) ・一人歩き (歳 ヶ月) ・発 語 (歳 ヶ月) ・視線 (<input type="checkbox"/> 合う・ <input type="checkbox"/> 合わない) ・指 さ し (<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無) ・人見知り (<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無) ・場所見知り (<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無) ・特記事項 (保育所の頃から運動にぎこちなさがあった。場所見知りがあり、初めての場所だと泣いたり逃げ出したりした。)				H22.4 △△保育所 担任：* * * * * H25.4 〇〇〇小学校入学 1-1 担任：* * * * * 2-1 担任：* * * * *	

氏名*** ** (*年 *組)

記入者名*** *

興味・関心・魅力	<本人> 決めたことは最後までやりたい。 お話作りが好き。	<保護者> 難しい内容の本でも、一度関心をもったら何度も読んでいます。理解もしている。			
ニーズ・願い	<本人> 漢字ドリルや計算問題など同じことを繰り返すと疲れる。繰り返しの多い課題はやりたくない。リラックスする時間がほしい。	<保護者> 家でのパニック（1時間）が週に4回ある。気持ちを落ち着けて、無理なく学習に参加してほしい。			
支援方針	<総合的な支援方針> 疲労感を和らげるための配慮を行い、学習への参加を高めるとともに家庭での安定を図る。そのためにも自分で状況を伝える力を身に付けさせたい。 <目標> 自分のペースを知り、無理のない学習参加ができる。				
策定日	H***年 6月 4日（木）	見直し日	H***年 12月10日（木）	総合評価日	H***年 3月 7日（月）
関係諸機関	家庭	パニックになる前に、宿題の量を調整する。			
	療育・教育	養護教育センター TEL ***-***-*** 学校生活について相談。担当は〇〇。			
	放課後・休日・地域				
	医療・健康	〇〇病院 月に1回通院。TEL ***-*** パニックを抑えるための頓服薬をもらう。（薬の名前）担当は〇〇			
	行政・福祉等				

【合理的配慮の記載】

優先順位	配慮が必要な状況・実態	配慮すべき事柄（3観点11項目を参考）	評価
1	・疲れがたまると、学習に集中できず、疲労がたまって家でパニックを起こしてしまう。学校での疲労を少なくする必要がある。	・クールダウンをする機会の提供。 (①-2-3 心理・健康面の配慮)	・非常に有効。本人も今後も継続希望する。 (12/10) ・自分の状態を担任に伝えることもできるようになってきた。(3/7)
2	・漢字練習やドリルなど同じ課題を繰り返す課題で疲労しやすい。注意が持続できる量の調整が必要である。	・課題の量を減らす。 (①-1-2 学習内容の変更・調整)	・量を減らすことで、学習参加が高まっている。 (12/10) ・通常の量もこなせるようになってきた。継続する。(3/7)
3	・書くことなど苦手な部分における指導が必要。	・LD 等通級指導教室に通級し、週1回の個別の指導を受ける。 (②-1 専門性のある指導体制の整備)	・今後も継続する。(3/7)

総合評価

上記の内容は、本人自身の安心感につながっていることから、今後も継続する。課題の量については、徐々に通常の課題ができるようになってきているので、本人と適宜相談し合いながら配慮の程度を検討する必要がある。

評価者署名：*****

以上の内容に同意します。(自署)

H**年 6月4日 本人氏名 **** *

保護者氏名 **** *

担任氏名 **** *

園長・学校長名 **** *

保護者の了解なく関係諸機関に提示してはいけない。管理には十分注意をする。

記入のポイント

(秘) 個別の教育支援計画

幼稚園・保育所名 ()
学校名 (千葉市立*****小学校)

保護者が記入する。

現在一緒に生活している家族について記入する。

療育センターでの指導や民間の個別指導なども記入する。診断をした医師の名前など担当者名を書くことよい。

連携・連絡を取る必要がある場合には担当、担任の名前なども書いておくことよい。

診断名がはっきりしない場合は書かなくてもよい。****疑いでも可能。

診断またはニーズの高まりに至るまでの経緯を簡潔に書く。

頻繁に見られる苦手さ、困りを記入する。

更新した場合は適宜書き足したり、削除したりする。

書ける範囲で記入する。

ふりがな 氏名	*****		生年月日	H***年 **月**日
ふりがな 氏名	***** (続柄 父)		家族状況 (ペット含)	
住所	〒		*** (父*歳)	
TEL			*** (母*歳)	
緊急 連絡先	①名前 (続柄)	Tel	*** (姉*歳)	
	②名前 (続柄)	Tel	本人 (*歳) 犬2匹	
診断名 (複数可)	自閉症スペクトラム障害	医療機関名 (左に対応)	〇〇病院	
診断に至るまでの経過		現在までの治療・相談歴		
<p>年長の頃から、不器用な様子があった。小学校に 入ってから家でパニックを起こすことが多く、病院 受診した。</p>		<p>H23.5 保健師に運動のことを相談 (担当***) H27.4 〇〇病院に受診 服薬 (担当*****) H27.5 千葉市養護教育センターに相談 (担当*****)</p>		
特に本人が困っていること				
書くのが苦手。繰り返す同じことをするのが苦 手で、パニックを起こす。				
療育手帳	有・ <input type="checkbox"/> 等級	手帳番号	年	月 日 交
身体障害者 手帳	有・ <input type="checkbox"/> 等級	手帳番号	年	月 日 交
精神障害者 保健福祉手帳	有・ <input type="checkbox"/> 等級	手帳番号	年	月 日 交
受給者証 有・ <input type="checkbox"/>	番号		番号	
諸検査 服薬 アレルギー など	<p>・WISC-IV (FSIQ** VCI** PRI** WMI** PSI**) H27.6 養護教育センターにて ・頓服薬〇〇</p>			
生育歴		療育・保育・教育歴		
<p>・出下時体重 (g) ・首のすわり (歳 ヶ月) ・一人歩き (歳 ヶ月) ・発語 (歳 ヶ月) ・視線 (合う・合わない) ・指差し (有・無) ・人見知り (有・無) ・場所見知り (有・無) ・特記事項</p>		<p>H22.4 △△保育所 担任: **** H25.4 〇〇〇小学校入学 1-1 担任: ***** 2-1 担任: *****</p>		
<p>保育所の頃から運動にぎこちなさがあ った。場所見知りがあり、初めての場所だ と泣いたり逃げ出したりした。</p>				

《Check Point!!》

- 個別の教育支援計画の様式は A3 見開きに印刷して活用します。その際、表紙にプロフィールの様式、内側見開きに支援方針・関係機関の書かれた表と合理的配慮の記載、裏表紙はメモ欄がくるようにします。
- 表紙の記載は保護者の同意が必要です。
- 全てを一度に書き込む必要はありません。空欄があってもよいです。
- 診断名がない場合は、本人の困り感を書く欄に具体的に記述するようにしましょう。

本人の肯定的側面の理解や支援の手がかりとして活用できる内容を記入する。

本人自身がとらえている内容をまとめ、記入する。

本人や保護者の願いを受けて、学校側の視点も加え支援方針をまとめる。

本人の願う生活に近づくための目標にする。

策定日は、総合的な支援の方針に基づいた合理的配慮に同意を得て署名した日付。見直し日、総合評価日を必ず年度内に位置付ける。

内容が変わったら、適宜修正する。

学年が変わった時に新規作成し、張り付ける。

保護者が考える本人の興味関心や魅力を記入する。

面談時に確認した内容を学校の担当者が記入する。

追加用紙のりし名	
氏名 *** ** (* 年 * 組)	記入者名 *** *
興味関心・魅力	<p><本人> 決めたことは最後までやりたい。□ お話作りが好き。</p> <p><保護者> 難しい内容の本でも、一度関心をもったら何度も読んでいます。理解もしています。□</p>
ニーズ・願い	<p><本人> 漢字ドリルや計算問題など同じことを繰り返すと疲れる。繰り返しの多い課題はやりたくない。リラックスする時間がほしい。□</p> <p><保護者> 家でのパニック（1時間）が週に4回ある。□ 気持ちを落ち着けて、無理なく学習に参加してほしい。</p>
支援方針	<p><総合的な支援方針> 疲労感を和らげるための配慮を行い、学習への参加を高めるとともに家庭での安定を図る。そのためにも自分で状況を伝える力を身に付けさせたい。</p> <p><目標> 自分のペースを知り、無理のない学習参加ができる。</p> <p><支援の見直し> <input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> その他 </p>
策定日	H***年 6月 4日(木) 見直し日 H***年 12月 10日(木) 総合評価日 H***年 3月 7日(月)
家庭	<p>パニックになる前に 宿題の量を調整する。</p> <p>家庭での様子や取り組みについて記入する。</p> <p>年齢や状況に応じてどの程度のスパンが適切か検討する。</p>
療育・教育	<p>養護教育センター □ TEL ☎***-***-*** □</p> <p>学校生活について相談。担当は○○。□</p>
放課後・休日・地域	<p>習い事や塾または特徴的な生活について記入する。</p>
医療・健康	<p>○○病院 □ 月に1回通院。TEL ☎***-***-*** □</p> <p>パニックを抑えるための頓服薬をもらう。(薬の名前) 担当は○○</p> <p>主な相談内容をまとめる。服薬の状況、目的なども記入する。</p>
行政・福祉等	<p>放課後支援、福祉的サービスなどを記入する。</p>

《Check Point !!》

- 総合的な支援方針が決まるまで、保護者と面談を繰り返したり、本人とどんな配慮がよい状態につながるのかを検討したりする過程が重要です。焦らずに合意形成を行います。
- より具体的な方針、手立てや長期・短期目標については、個別の指導計画に記載します。
- PDCA サイクルで進められるよう、見直し日や総合評価日を必ず設定します。
- 関係諸機関の情報は変更があったら適宜修正します。赤で修正するとわかりやすくなります。

学年が変わった時に新規作成し、貼り付ける。

追加用紙のりしろ

配慮が必要な状況、支援の方針を記述する。

具体的な配慮事項を記述する。3観点11項目における位置付けも書く(P資料参照)

優先順位は、1、2、3…などの数字や高い、低い、時々などの言葉で示すとよい。

成果や課題を整理し、継続事項や再検討事項を明確にする。最後に、評価を行ったメンバーで署名し、まとめとする。引継ぎにも活用。

本人の自署は実態に応じて求める。保護者代筆可。署名後にコピーし、保護者に渡す。

【合理的配慮の記載】

優先順位	配慮が必要な状況・実態	配慮すべき事柄(3観点11項目を参考)	評価
1	・疲れがたまると、学習に集中できず、疲労がたまって家でパニックを起こしてしまう。学校での疲労を少なくする必要がある。 □ □ □ □ □ □	・クールダウンをする機会の提供。 □ □□□(①-2-3心理・健康面の配慮) ・課題の量を減らす。 □ (①-1-2学習内容の変更・調整) □ ・LD等通級指導教室に通級し、週1回の個別の指導を受ける。 □ (②-1専門性のある指導体制の整備) □	・非常に有効。本人も今後も継続希望する。 □ (12/10) □ ・自分の状態を担任に伝えることもできるようになってきた。(3/7) □ □ ・量を減らすことで、学習参加が高まっている。 (12/10) □ ・通常の量もこなせるようになってきた。継続する。(3/7) □ □ □ ・今後も継続する。(3/7) □ □
2	・漢字練習やドリルなど同じ課題を繰り返す課題で疲労しやすい。注意が持続できる量の調整が必要である。 □ □ □ □ □ □		
3	・書くことなど苦手な部分における指導が必要。 □ □ □ □ □ □		

総合評価

□上記の内容は、本人自身の安心感につながっていることから、今後も継続する。課題の量について徐々に通常の課題ができるようになってきているので、本人と適宜相談し合いながら配慮の程度を検討する必要がある。□

評価者署名: *****

以上の内容に同意します。(自署)

H**年 6月4日 本人氏名 ***** 保護者氏名 *****

担任氏名 ***** 園長・学校長名 *****

策定メンバーの合意を得た内容を学校の担当者が記入する。

見直し日や総合評価日にまとめる。有効性や継続の必要性、経過などを書く。その際、必ず日付を書く。

《Check Point!!》

- 年度が変わり、新たに作成する際には追加の必要がある分だけ書き込み、同じ内容は、「昨年度と同様」と書くといいでしょう。ただし、合理的配慮の提供までに、改めて合意形成を行う必要がある場合があります。
- 4ページ目のメモ欄は、必要に応じて自由に活用するためのものです。
- 本人が将来的に学校以外の場合でも、自分から申し出ができるようになることが大事です。環境調整だけでなく、自己理解を育むことも重要です。

個別の教育支援計画 Q & A 【幼稚園・保育園・認定こども園等】

Q 1 「個別の教育支援計画」とは？

A 1 乳幼児期から学校卒業までを見通した長期的な視点で、一貫した支援を受けられることを目的として作成するものです。

Q 2 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」、「要録」の違いは？

A 2 それぞれ性格の違うもので、小学校への渡し方も異なります。「個別の教育支援計画」は、保護者からの依頼で作成し、保護者自身が学校に渡します。

Q 3 「個別の教育支援計画」の作成が必要な園児は？

A 3 特別な支援が必要な乳幼児、または左記に準ずる児童で、保護者の同意が得られた場合に作成します。具体的には以下に該当するケースで、障害の有無ではありません。

- ① 保護者からの申出があった場合
- ② 関係機関との連携のある場合
- ③ 保育の中で、特別な支援や個別の指導が必要な場合
- ④ 担任だけでは支援が行き届かず、園内での教職員間の連携した配慮が必要な場合
- ⑤ 特別な配慮や支援を就学先や転園先等に引き継ぐ必要がある場合

※障害の有無よりも、保育の中で配慮が必要かどうか大切です。

Q 4 「個別の教育支援計画」は、いつ、どのように作成するのですか？

A 4 保護者からの要望や、幼稚園や保育園、認定こども園等の判断により必要とした時点で、保護者の同意を得て、保護者と協力して作成します。年長児の具体的な進め方は以下のとおりです。

- ① 4 月に養護教育センターから配布される、「就学説明会案内」を年長児全員に配布又は園内で掲示する。
- ② 保護者は、説明会に参加し「個別の教育支援計画」の説明を聞く。
- ③ 保護者からの要請を受けて、幼稚園や保育園、認定こども園等が必要な個所を記入し、保護者も記入する。
- ④ 保護者と面談し、記入内容の確認や共通理解を深める。
- ⑤ 1 月頃に、「新しいステージ（就学・転園等）でのより良い連携のために伝えたいこと」を記入し、「個別の教育支援計画」を完成させる。その後、写しに原本証明（A4・片面印刷・左上 1 か所留め）をして保護者へ渡す。
- ⑥ 保護者は、2 月頃に実施する入学説明会に参加。個別面談時に、持参した「個別の教育支援計画」（写）をもとに小学校と面談を行う。

Q5 作成対象者は年長児のみですか？

A5 年長児以外についても、日頃から対象児童の困り感や支援の必要性などについて、保護者と情報共有、共通理解ができていれば、園から作成を勧めることもできます。

Q6 作成した「個別の教育支援計画」はどのように活用するのですか？

A6 保護者や担任が、この資料を基に具体的な支援方法、配慮方法を検討するほか、就学や転園、子どもルーム、療育機関等の引き継ぎ資料にも活用します。

Q7 「個別の教育支援計画」の取り扱いとは？

A7 個人情報に当たるため、適切に保管するとともに、保護者とやり取りする際は手渡しや郵送する等、FAXでのやり取りは避けます。保管年限は各園で要録やその他個票を参考に適切に定めます。(参考：千葉市は6年保管)

Q8 「個別の教育支援計画」を引き継ぐときは？

A8 「個別の教育支援計画」を就学や転園先、子どもルーム、療育機関等へ引き継ぐ場合は、保護者経由で行います。写しに原本証明(A4・片面印刷・左上1か所留め)したうえで保護者へ渡します。

Q9 インクルーシブ保育を進めるうえで「合理的配慮」と聞きますが、「合理的配慮」とはなんですか？

A9 設置者や学校が、どの子ども園生活を充実させるために、過度な負担を負わない範囲内での手立てや支援、変更、調整を行うことを言います。
具体的には、「個別の教育支援計画」の「具体的な支援」の項目に書き込まれている内容になります。

Q10 「個別の教育支援計画」を作成するメリットを保護者に聞かれたら？

A10 「お子さんの就学に関して、事前に情報共有することで、支援方法の検討をしてもらえるようです。」と伝えると安心できるのではないのでしょうか。

Q11 個別の教育支援計画の様式はどこにありますか？

A11 千葉市養護教育センターホームページ内、「インクルーシブ教育システム構築」に様式があります。ダウンロードし、保護者と協力して作成しましょう。

URL：<http://www.cabinet-cbc.ed.jp/youse/index.html>

または「千葉市養護教育センター」で検索